

記者発表様式

1件1枚で作成してください。

所属(農業振興課(むなかた地域農業活性化機構派遣))

担当者(前田誠太郎)電話(36-7883)

タイトル
道の駅むなかたにおける「むなかた季節の豆乳ジュース」の本格販売開始について
概要(発表内容を簡単に記入してください)
「むなかた特産品のまちづくりの会」が、好評をいただいている「むなかたバーガーポケット」に続く新たな地元特産加工商品第2弾として、現在、道の駅むなかたで試験販売中の「むなかた季節の豆乳ジュース」について、8月1日から同施設で本格販売を開始します。
内容(発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能)
<p>(1) 「むなかた特産品でまちづくりの会」について</p> <p>宗像市の若手職員による人づくりまちづくり研究所による「宗像ピタット」の取り組みを継承し、宗像市ならではの新たな特産品を開発するため、(株)正助ふるさと村、(株)すすき牧場、宗像市(商工観光課)、(財)むなかた地域農業活性化機構などの協働により、平成22年4月に「むなかた特産品でまちづくりの会」を立ち上げました。</p> <p>当団体は、宗像市人づくりでまちづくり事業補助金を活用し、新たな特産品の企画として、「むなかたバーガーポケット」を道の駅むなかたで販売しています。また、7月から新たに(株)グローバルアリーナが構成員として参加し、市やグローバルアリーナと関係が深いブルガリア共和国の特産品であるヨーグルトを活用した「むなかた季節の豆乳ジュース」を販売することとしました。</p>
<p>(2) むなかた季節の豆乳ジュースについて</p> <p>むなかた地域(宗像市・福津市)で獲れる大豆は、過去2回、農林水産大臣賞を受賞するなど、国内トップクラスの高品質大豆として知られています。</p> <p>これらむなかた地域産優良大豆に本場ブルガリア産ヨーグルトとはちみつをぜいたくに使った豆乳をベースとして、ブルーベリー、すいか、無花果(8月)、桃(9月)、キウイ(10月)など、季節に応じた旬の果実や野菜を加え、子どもからお年寄りまで安心して飲める、さっぱり味の豆乳ジュースとして販売します。</p> <p>なお、ヨーグルトとはちみつについては、毎年、グローバルアリーナでブルガリアフェスティバルが開催されたり、平成22年9月には市がブルガリア共和国カザンラック市と協定を結ぶなど、宗像市と交流が深い本場ブルガリア産を使用しています。</p>
本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先(所属、担当者名、Tel)
<p>・むなかた地域農業活性化機構 前田 誠太郎 Tel 0940-36-7883</p> <p>・正助ふるさと村 三浦 哲久 Tel 0940-35-1100</p>